

## 「ネパール姉妹校記念日」集会

11月1日は本校の「ネパール姉妹校記念日」です。それに先立ち28日(木)に代表委員会が主催して「姉妹校記念集会」が開催されました。

集会では、代表委員のメンバーが、「サザエさんの家族」に扮装して、ネパールを訪問する想定の子劇でネパールの位置や国土の広さ、国旗、文化などを愉快地分かりやすく紹介し、その後「ネパール三択クイズ」があり、楽しく理解を深める集会になりました。



(ネパール集会)

<ネパール三択クイズ>

Q1、ネパールの国の広さは、日本のどれくらいか。

Q2、国旗の三角形は何を表すか。

Q3、「ナマステ」はどんな意味か。

Q4、食事でよく食べられるものは何か。

Q5、お金の単位は何でしょう。

(答は別のページに)

## ネパールの友だちに文房具品を届けてあげよう

11月1日は「ネパール姉妹校記念日」です。上記の「ネパール集会」をはじめ、全学年で「ネパールを知る」活動が進められています。

また、12月25日から1月6日までの日程で、本校より第6次のネパール訪問団を派遣することになっています。1学期に募集した結果、20名の訪問団となりました。

ネパール訪問の際に毎回ネパールの子どもたちに文房具品をプレゼントしてきました。ネパールでは、文房具品が極端に不足しており、日本からの文房具品は、とても貴重品となっています。今回の訪問でも『文房具を届けよう』ということになりました。

つきましては、ご家庭の皆様にもご協力をいただきたくお願いする次第です。ご家庭で使われていない『えんぴつ、消しゴム、その他の文房具』を学校に寄せていただきたいのです。ご家庭で眠っている文房具もネパールではしっかり生かされるのです。まだ使われていない文房具を基本にします。文房具品について言えば、トンボ鉛筆株式会社様からもネパールの子どもたちに渡してくださいと提供されました。文房具品を提供してよいというご家庭がありましたら提供してください。お子さんに持たせてください。11月23日に「結団式」を予定していますのでその日くらいまでをお願いします。12月25日からの訪問団によって手分けされ、ネパールに届けることにします。ご協力ください。

<ネパールの集会の給食メニュー>

- ・まめとやさいカレー
- ・カンティプールサラダ
- ・フルーツのヨーグルトあえ
- ・牛乳

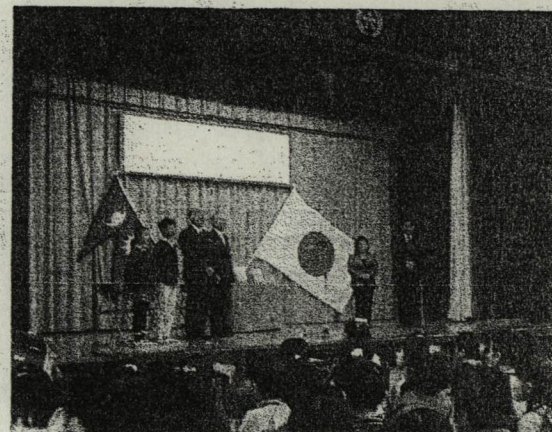
\*ネパール料理を代表するカレーができました

## 思い出が詰まった教科書

### 日本語の勉強に役立ててください

28日(月)、日本語や日本文化を学ぶ学科を設置するネパールの大学に教科書を贈る『贈呈式』が行われ、現地の大学関係者に本校で集められた教科書を手渡しました。

『僕たちが今まで使ってきた教科書をネパールの皆さんに贈ります。この教科書には、学びのヒントや知識、そして僕たちの思い出がたくさん詰まっています。僕たちにとっても大切な教科書ですが、ネパールの皆さんの日本語の勉強のために役立ててもらえるのであれば、とこんなに沢山の教科書が集まりました。言葉や文化が違っても、勉強への気持ちは日本もネパールも変わらないと僕は思います。喜んでいただけたら嬉しいです。ぜひお受け取りください』と、6年生の代表委員会委員長・谷田貝瞬君があいさつをし、



4年生の代表委員・谷田貝亜美さんが紅白のリボンで飾った教科書を手渡しました。

「贈呈式」には、ネパール側から日本ネパール協会1名、アルファ国際学院1名、東京都から知事本局外務部外務課長他2名、東京都教育委員会1名、江戸川区から教育委員会浅野教育長、建部指導室長、金木指導主事が出席されました。また、本校からは、全校児童、教職員の他にネパール姉妹校委員会、PTA役員の皆様方が出席しました。

## めぐまれない世界の子どもたちに

9日から16日までの期間『ユニセフ募金』が代表委員会のリードで展開されました。

「世界のめぐまれない子どもたちに『愛の手』を」と取り組まれた募金は、総額で80496円寄せられました。

校門で募金箱を手に訴える代表委員会のメンバーに多くの子どもたちが応えてくれました。

募金のうち、3万円は、ネパール・ジャナジョティ小学校の支援金として、残りはユニセフ日本本部に送金して世界の子どもたちに役立たせることになりました。ご協力ありがとうございました。

